

# 川崎の 社会福祉

川崎市  
社会福祉協議会

2022.1  
January

冬  
No.595



社会福祉功労者表彰式の様子



2022年  
1月号の記事

- 年頭のご挨拶
- 社会福祉功労表彰  
川崎市社協表彰

P2  
P3

- [特集]老人福祉センター紹介
- [特集]みんなで支え合う川崎のまちへ

P4・5  
P6・7



## 年頭のご挨拶

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 会長 浮岳 勝仁



新年明けましておめでとうございます。

昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、特にパラリンピックでは新たに知る競技も多く、アスリートの活躍に心から感動を覚えました。その一方、一昨年より新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、とりわけ、生活困窮、孤立や孤独、自殺の増加など、地域においては深刻な状況となっており、コロナ禍の今こそ、社協としての存在の真価が問われています。

令和2年3月からは、休業や離職された方々への支援として、生活福祉資金の特例貸付を行い、令和3年11月末現在で、申請件数約4万4千件、申請総額約165億円となり、市民のセーフティネット機能を担ってきました。

生活困窮に陥る人々には、社会福祉法人や施設と連携して、食糧支援の取組を行う中で生活再建をサポートしており、市民・施設・企業の皆様から多くの食糧寄付をいたしたことにより、支援の輪が広がっています。

こうした取組の基本となるものが「第5期地域福祉活動推進計画」であり、「みんなで支え合い ともに安心して その人らしく暮らせる 川崎のまちづくり」を基本理念として、行政と連携しながら、社協らしい地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいます。

本年も地域福祉の充実と発展のため、円滑な運営に努め、心ある温かい地域福祉事業の推進に努めてまいりますので、皆様にはより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、皆様のご多幸とご健勝をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## おめでとうございます！

令和3年10月26日（火）、川崎市総合福祉センター7階大会議室にて、永年にわたり市内で地域活動に貢献された方々への表彰を行いました。

表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各功労の代表者および一部関係者のみの出席となりました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

### 川崎市長表彰

51名、6団体  
(順不同、敬称略)

山田 義孝	今 満	榎本 公一郎	錦見 欣哉	目代 由美子	酒井 範子	福田 熙	与田 好子
中村 布佐子	仲 麗子	菅谷 聰子	山崎 理恵子	北風 敏夫	藤原 啓光	吉田 尚美	進來 聰子
白石 大樹	深澤 智美	安部 梨加	井上 孝彦	山崎 容子	上野 聰子	ニノ宮 由江	山川 満里子
今西 ひろみ	三澤 龍彦	吉田 純	小野 雅徳	佐々木 智子	田食 麻衣子	大槻 孝子	大間 深雪
鈴木 誠	比留川 進	渡辺 真知香	佐藤 雅賀	廣瀬 亜希子	吉住 幸代	若林 瞳美	鈴木 玲弥
稻岡 韶樹	松成 美智子	吉田 祐次	菅原 亜紀	巻 内 卓	細渕 俊一	島本 拓	神谷 栄子
佐生 綾子	伊藤 三希子	江守さん家	特定非営利活動法人環境紙芝居エコ座	三本木の会	けやきの会		
多摩サポートーズ	塚越 かよこ	社会福祉法人川崎いのちの電話					

### 川崎市社会福祉協議会 会長表彰

37名、5団体  
(順不同、敬称略)

曾田 勝規	荻原 幸江	伊藤トキ子	青木 恵美子	八木下 清信	床枝 勝幸	棚瀬 良子	安田 妙子
青木 和子	富室 真知子	仁藤 栄子	内田 治彦	白井 則至	星野 憲司	筒井 進	鈴木 満子
三堀 忠	小野瀬 朋子	山本 良子	平 満る子	鈴木 晴夫	浮岳 亮仁	中澤 喜三矩	猪股 せつ子
松本 英嗣	八巻 曜	鹿山 幸恵	小林 道子	西尾 信	今 富子	梅澤 馨	
大師コミュニティ企画委員会		中原区精神保健福祉家族会(こすげ会)		丸子玉川リハビリクラブ	たかつボランティア・当事者連絡会		
伊東 栄子	豊島 喜代子	萩原 勝次	藤本 幸子	安井 良衛	地域子育て応援団「おいでおいルーム」	他1名	

### 川崎市社会福祉協議会 会長感謝

7名、5団体  
(順不同、敬称略)

市川 和夫	一般社団法人 川崎市弘済会	川崎国際生田緑地ゴルフ場	永島 智恵子	マルハン川崎桜本店
大本山川崎大師平間寺	ブルタブの会	代表 尾嶋 和幸	高津第三地区民生委員児童委員協議会	川口 一雄
岸 君子	手塚 勝也			



\* 2022年シニア世代の地域デビューを応援します \*

# ようこそ!!老人福祉センターへ

## 川崎区

### かわさき老人福祉・ 地域交流センター

(川崎区堤根34-15)  
TEL:044-233-5592

世代を問わず、どなたでもご利用できる地域交流センターを併設。高齢者向けのプログラム実施だけでなく、地域コミュニティの場としても賑わう、明るく開放的なみんなの居場所です。

コロナ禍で延期が続いている「春のつどい」を2月に開催!はじめての方も気軽に参加してくださいね。

スタッフ  
より



人気講座「やさしいヨガ」

## 幸区

### さいわい 健康福祉プラザ

(幸区戸本町1丁目11-5)  
TEL:044-541-8000

幸区役所に隣接しており、同建物内には区社協の事務局も。困りごとを抱える利用者を連携して支援することができ、地域のみまもり役として活躍しています。

利用者さんの心身の変化にいち早く気が付けるよう、お声掛けは欠かしません!

スタッフ  
より



こども文化センターとの協働イベントも

## 中原区

### 中原老人 福祉センター

(中原区井田3丁目16-2)  
TEL:044-777-6000

庭園の池には鯉が泳ぎ、大浴場やゴルフ場など、手入れの行き届いた設備が人気の中原老セン。新規利用者の来所も多く、明るくて親しみやすい雰囲気が自慢です。

令和4年度前期講座の申し込みは3月からスタート。ぜひご応募ください。

スタッフ  
より



緑豊かな敷地内でパーゴルフ大会

## 宮前区

### 宮前老人 福祉センター

(宮前区宮崎2丁目12-29)  
TEL:044-877-9030

スタッフ  
より

ご意見はささいなことでも職員間で共有。利用者さん一人ひとりへ、丁寧に対応しています。



講座受講生による作品展

## 多摩区

### 多摩老人 福祉センター

(多摩区中野島5丁目2-30)  
TEL:044-935-2941

スタッフ  
より

「顔が見える」関係づくりを目指し、職員が明るく出迎えます。花壇ボランティアなど、利用者も施設運営をお手伝い。まるで第2の家のような、温かさにあふれるセンターです。



手作りのイベントチラシ

## 高津区

### 高津老人福祉・ 地域交流センター

(高津区末長3丁目24-4)  
TEL:044-853-1722

近隣の保育園や大学との交流も盛んで、地域に開かれた施設を目指しています。「すえながくいきいきと」をモットーに、誰もが気軽に集えるアットホームなセンターです。

世代問わず楽しめる行事を多数企画し、皆さんのお利用をお待ちしています。

スタッフ  
より



洗足学園音大生によるコンサート

## 麻生区

### 麻生老人 福祉センター

(麻生区金程2丁目8-3)  
TEL:044-966-1549

スタッフ  
より

「高齢者的心と体の健康づくり」を目的に、28種類もの学習・趣味講座が自慢。特に、申込み不要で参加できる「リハビリ教室」は、コロナ禍で運動不足が気になる方に大人気です。



多彩な講座はいつも満席

老人福祉センターは60歳以上の市民を対象に、看護師や相談員が健康・生活についての相談に応じたり、講座・イベントの開催を通して、地域での仲間づくりや生きがいを支援する場所です。市内在住の60歳以上の方であれば、7区どこの老人福祉センターでも利用可能です。2022年、新しい自分と出会うため、老人福祉センターで地域デビューの一歩を踏み出してみませんか?みなさまのご利用お待ちしています。

川崎市社会福祉協議会では川崎市から指定管理を受託し、市内7区の老人福祉センターを運営しています。川崎区、高津区については地域交流センターを兼ねており、高齢者だけでなく、どなたでも幅広く市民が多目的に利用し、多世代交流を深める場となっています。



## 施設のご利用について

利用できる人 市内在住・60歳以上の方

※はじめてセンターをご利用の際は、健康保険証など身分証をご持参ください

利用時間 9~16時

利用料 無料 ※各種講座・イベント参加時は費用がかかる場合があります

休館日 日曜・祝日・年末年始

※詳しくは、HPをご覧ください。



地域共生社会の実現に向けて

# みんなで支え合う川崎のまちへ

～障害者週間とオレンジリボン運動～

障害を持つ人を  
支援する

「つながること」がキーワードに  
～障害者を「見えない存在」にしないために～



川崎市肢体不自由児者  
父母の会連合会 会長  
**石橋 吉章**さん

## Profile

身体障害を負った長男とともに、50年以上にわたって市内で障害児の団体活動にたずさわっている。全国肢体不自由児者父母の会連合会の副会長も務める多忙な毎日。

私たちの団体は、病気や事故などさまざまな原因で体に不自由を負った子どもたちが、安心して生活できるまちづくりを目指して活動しています。活動の一環として、毎年12月の障害者週間キャンペーンでは、身体や知的など市内13の障害者団体とともに、大規模な啓発運動を行っています。

これまで啓発や地域交流といえば、施設や事業所でのバザーやイベントがメイン。私たちの居場所へ、住民の方に「来てもらう」ことが主なスタイルでした。でも、これからは当事者自身が地域に出かけ、まちに溶け込む努力をする方法が必要だと感じています。差別とは、お互いが相手のことを知らないから引き起こされるもの。どんな障害がある人も「隣にいるのが当たり前」の社会になれば、「障害者」という言葉自体

もなくなるかもしれませんよね。

私は、長男が地域の学校に通えるようにと奔走したことがきっかけで、現在の活動をはじめました。障害を負った子の進学や就労で、今まさに悩みの最中にいる若い方々とつながりを持ち、これまでの経験・知識をシェアしていかなければと思います。

## 新年の抱負

コロナ禍ではありますが、できるだけ多くの人と顔の見える関係を築き、誰にとっても住みやすい地域社会を目指していきたいです。

川崎市社会福祉協議会では、誰もが支え・支えられながら役割と生きがいをもつことが出来る社会(地域共生社会)を目指し、様々な地域支援活動を実施しています。障害者や子どもを支援する活動の一環としては、障害者週間、オレンジリボン運動を実施し、さまざまな団体・機関とともに啓発活動を行いました。長年にわたって活動に取り組むお二人から、多くの方に知ってもらいたい信念や寅年の新年の抱負を語っていただきました。

子どもたちの ひとりじゃないよ ひとりにしないよ  
未来を支える  
～子ども虐待防止のため、保護者への共感と併走を～



オレンジリボンたすきリレー  
川崎コース実行委員会 委員長  
児童養護施設 白山愛児園  
施設長

**霜倉 博文**さん

## Profile

大学のゼミで社会福祉を学び、児童養護施設に勤務した後、妻とファミリーホームを設立。里親としておよそ20名の子どもたちの養育に関わってきた。現在は白山愛児園(麻生区)の施設長を務める。

私は長年、児童福祉の仕事にたずさわってきたことから、児童虐待防止を目的とする「オレンジリボンたすきリレー川崎コース実行委員会」委員長を務めています。啓発用チラシ「ひとりじゃないよ、ひとりにしないよ」は、困難を抱えている子どもたちへのメッセージであると同時に、子育てに悩みながらも、一生懸命がんばっている保護者にも伝えたい言葉。子どもとその親をやさしく見守る社会の実現に向け、さまざまな活動を行っています。

相談窓口では専門スタッフがお話を聞くほか、子育てサービスの案内などもしています。育児疲れの方が、児童養護施設や乳児院のデイスティ(日中預かり)・ショートステイ(宿泊預かり)を利用できるのはご存知ですか?施設と聞くと身構えてしまうかもしれません、育児に行き詰まっている時は、遠慮することなく私たちを頼ってください。きっと、あなたの助けになるはずです。



## 相談窓口

子育てに関する相談を  
市内6カ所で受け付けます。



## 新年の抱負

川崎市には、他都市から若い世帯が多く転入しているという特徴があるため、周囲にサポートしてくれる家族や友人がおらず、孤立した子育てに悩む方がたくさんいます。こういった地域の背景から、まずは気軽に子育て相談できる窓口の存在を知ってもらうことが目標です。

## 障害者週間

毎年12月3日から9日までの1週間は「障害者週間」として障害者基本法に規定されています。国民の間に広く「障害」についての理解を深め、ともに生きる福祉のまちづくり推進のため、さまざまな取組みが行われます。



市内主要駅前での  
啓発グッズ配布



かわさきFMに出演し、  
活動をPR



川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダース、NECレッドロケッツの3チームも活動に協力しています。

## オレンジリボン運動

「子どもへの虐待のない社会」を目指す市民運動で、シンボルカラーのオレンジ色は「子どもの明るい未来」を表しています。例年11月の活動強化月間には、各地でさまざまな啓発イベントが開催。児童福祉関係者がたすきをつないで走る「オレンジリボンたすきリレー」は、2010年の開始以来、全国各地に広まっています。



二千葉 No.12 山内美



Frontal



# 寄付御礼

たくさんのご寄付を  
ありがとうございます

令和3年9月1日～12月8日(順不同)

川崎市社会福祉協議会の  
地域福祉活動へのご寄付

- 海保 和夫 様
- 有限会社 天遊社 様
- 蓮見 初美 様
- 有限会社 グリーンフーズあつみ 様
- 一般社団法人 川崎市弘済会 様

川崎市社会福祉協議会の  
福祉基金へのご寄付

- 市川 和夫 様

食料支援かわさきへのご寄付

- 特別養護老人ホーム 新緑の郷 様

その他市域へのご寄付

- ハイセンスジャパン株式会社 様

いただいた寄付金や物品は、  
さまざまな地域福祉活動へ役立っています。

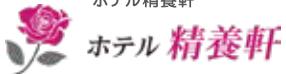


## 協賛会員様のご紹介(敬称略)

セレサ川崎農業協同組合



株式会社  
ホテル精養軒



居宅介護支援・訪問介護  
デイサービス・福祉用具貸与販売・自費サービス事業  
株式会社ジャパワイン

JAPAWIN

株式会社アイダックデザイン



川崎信用金庫



シティーリフトかわさき株式会社



株式会社セレモニア



総合建設・不動産会社  
ジェクト株式会社



デュプロ株式会社横浜支店



株式会社川崎フロンターレ



いづみ文具  
株式会社

東横システム株式会社



本会の活動にご賛同いただける企業・法人様を募集しています。いただいた会費は、地域福祉を支えるさまざまな活動資金として使われます。詳しくはTEL:044-739-8710(庶務課)までお問い合わせください。

■編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住 所：川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL：044-739-8710(代) FAX：044-739-8737  
E-mail : info@csw-kawasaki.or.jp HP : http://www.csw-kawasaki.or.jp

広報紙「川崎の社会福祉」に掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

発 行：年4回(4・7・10・1月1日)

年間購読を希望される方は、  
庶務課(044-739-8710)へお電話下さい。